

Bellflower



神戸薬科大学

図書館ニュース

No.25 2001. 4

ブックガイド

(新着資料から)

アブライドセラピューティクス ：症例解析にもとづく薬物治療

全5巻

L. Y. Young他編

緒方宏泰他日本語版総編集

テクノミック，2000～

492

You

106839～

本書はカリフォルニア大学とワシントン州立大学の臨床薬学コースで教えられている内容を集大成したものであり、総論（臨床薬物動態学、臨床検査値の解釈等）と各論（消化器疾患、肝疾患、高齢者の薬物治療等）から構成されている。

ところで、現在、薬剤師には薬のスペシャリストとして合理的な薬物療法を促進し、適正な薬物使用を推進することが求められている。このためには病態生理、薬物動態などの多くの科学的な情報を統合して評価、判断する能力が不可欠である。本書は、各章ごとに前半に病態や薬物治療についての概要を記述し、後半に薬物治療の具体的なあり方をカンファレンスにおける症例検討の形式（例えば、「喘息の既往症がある場合に、非ステロイド性消炎鎮痛薬を使っても安全か？」「痛みの治療に抗うつ薬を使う理由を述べなさい」等）で紹介している。このように具体的な例を用いて詳細に説明されているので、症状に対して選択された薬剤が適切であるか、投与された薬剤で十分な効果が得られないのはなぜか、等の問題解決のための実践的な考え方を習得することができる。

寺岡 麗子 記

ビデオ

やさしい薬の知識

全8巻

中田福市監修

医学映像教育センター，1999～

499.1

Yas

V538～

薬剤師になるためには、薬物についての膨大な知識を理解し、覚えることが必要です。しかし、これらの知識は、単に頭に詰め込むだけでなく、それらを系統立てて整理することにより、はじめて臨床現場で生かすことができます。このビデオは、臨床現場に必要な最小限の薬に関する知識が、アニメーションなどを用いてうまく整理してあります。第1巻は医薬品の総論的な事柄について、第2巻では薬が体の中にどう入ってどう作用するかについて、第3巻では主要な病気の薬について簡潔に、さらに第4巻以降は主要な薬物について病態ごとに説明されています。実際の処方箋や検査結果、さらには薬剤の実物も使って話が進められていますので、これまでに習得した知識の臨床上的重要性を、あらためて認識することができるでしょう。

これから薬理学、薬理学などを勉強していく人は、その全貌をつかむためにこのビデオを利用して下さい。また、4年生のみなさんには、病院・薬局実習に参加する前に、このビデオを使ってこれまでの知識を整理しておくことを是非お勧めします。

上田 久美子 記

目次

ブックガイド（新着資料から）寺岡麗子・上田久美子	1
ブックガイド part2（専門分野別）七海陽子	2
受入図書から	3～5

次

新図書館システム紹介	6～7
薬剤師のためのDI資料（8）長嶺幸子	8
お知らせ	8

ブックガイド part 2 (専門分野別)

“在宅医療の本”

薬局セブンファーマシー総薬局長 (本学42回生)
七海 陽子

在宅医療って何でしょうか？私達薬剤師にとって「在宅」はまさに「未開の地」です。しかし、医療と介護は実は切っても切れない関係にあるのです。さらに、高齢化社会、介護保険の導入によって病院薬剤師も薬局薬剤師も避けては通れない世界なのです。

では、在宅医療・在宅介護というのは一体どのように行われているのでしょうか？それらを知るには、『在宅医療』(メディカル・コア 季刊)や『HOMECARE Medicine』(メディカルトリビューン 月刊)を読めば全体的なイメージが湧いてくるように思います。医師だけでなく看護婦や理学療法士、作業療法士など、あらゆる職種の視点を見ることができ、また施設の種類(病院、老健施設、診療所)によって在宅への関わり方の違いもイメージとして掴めるように思います。また『平成12年版厚生白書』をみれば、制度にしる、地域サービスにしる、日本全体が高齢化社会に取り組んでおり、その一端が在宅医療・介護であることがわかつてきます。

「在宅」の全体像を掴んだら、次は「薬剤師がどう関わるか」という点にあると思います。

そこで挙げられるのが『患者さんに喜ばれる在宅訪問』(調剤と情報臨時増刊号：じほう1996)この本が出版された頃は薬剤師が在宅を始めだした頃で、「一体薬剤師に何が出来るのだろうか？」と全国の薬剤師が試行錯誤を繰り返している状況がよくわかります。その後同シリーズで、『薬剤師のための一歩先行く在宅医療への取り組み』(じほう1998)を読むと、在宅での薬剤師業務が変遷しているのがわかり、「薬剤師が在宅にいく取っ掛かり」のようなものが見えてくるような気がします。学生の皆さんが現場で活躍する頃には在宅現場での薬剤師の役割も増えていることと思いますが、その環境を構築するまでの先輩薬剤師の試行錯誤は当然の知識として持っておいて欲しいものです。

そして、平成12年介護保険施行に伴い、薬剤師の在宅医療・介護の分野への取り組みが必須となってきました。『在

宅医療・在宅介護と薬剤師～介護保険制度への薬剤師の関わりを中心に～』(渡辺徹・七海朗編 メディカル・ドウ)は、介護保険施行を目前にした時期に、薬剤師の為の介護保険の解説と、チーム医療の必要性とチーム医療の中での薬剤師の役割は何かという事を見出すきっかけになれる本だと思います。また、チームであるが故の「情報の共有」という点でも、参考になると思います。本中の「在宅日記」を読んで、「コレなら私にも在宅訪問が出来るかも。やってみよう」と沢山の薬剤師が在宅へ参画してくれればと思います。

しかし、ここで大切なのは、薬剤師はやはり「医療職種だ」ということです。「薬学知識」「高齢者の生理学知識」「臨床知識」「病理知識」の基本は抑えておきたいものです。これらは現場で経験的知識として積み重ねていくのですが、現場でのアンテナを鋭敏にしておくためにも、私は『高齢者医療メルクマニュアル』(メディカルブックサービス)と『新内科臨床学』(南山堂)を参考書的に手元に置いています。私自身、薬剤師として“在宅医療での「薬学的管理」「薬物治療管理」という分野を確立したい”と考えています。その為には「薬理学」「生理学」「薬物動態学」は基本です。『老年期の薬物動態学』『高齢者における薬剤管理指導業務マニュアル』(全てじほう)は、これから「在宅医療での薬学的管理」分野を確立させる基本になると思います。また、在宅においては、いかに患者や家族の立場に立てるか、いかに医療人としての意識とボランティア精神をもつことができるか...という点も必要だと思います。『老人の心理がわかる本』(河出書房新社)で患者や老人の気持ちを理解するとともに、『仰臥と青空』(水上勉著 河出書房新社)や『生き方のヒント』(神渡良平著 大和出版)で、老いや病気と向き合っている人の気持ち、心情を理解し、訪問する際にも、人間味のある言動が出来るように、自己の人間性も深めておくことが、これからの薬剤師にも求められるように思います。

2000年(平成12年)4月~9月

受 入 図 書 か ら

【和 書】

分類番号	図書記号	書 名	著 者 名	出 版 社
(総記)				
015.2	NIP	カウンター中国語	日本薬学図書館協議会編	日本薬学図書館協議会
017.7	DAI	学術情報提供と次世代図書館サービス	第17回大学図書館研究会運営委員会編	日本図書館協会大学図書館部会 国立私立大学図書館協力委員会
(哲学、心理学など)				
118	WIN	鯨と原子炉	Winner, L.	紀伊國屋書店
146.15	STE	ユング心の地図	Stein, M.	青土社
146.8	DEC	音楽療法事典	Decker-Voigt, H. 他編著	人間と歴史社
150.4	KAW	現代倫理学の冒険	川本隆史	創文社
150.4	SPO	ささやかながら、徳について	Sponville, A.	紀伊國屋書店
151	KUB	「男女平等」で人間は幸福になれるか	久保田信之	國民曾館
(歴史、伝記、紀行など)				
216.4	HIG	区政50周年記念誌		東灘復興記念事業委員会
289.1	OHI	だから、あなたも生きぬいて	大平光代	講談社
(政治、経済、社会、教育など)				
302.1	YAM	新教養主義宣言	山形浩生	晶文社
311	USU	原理主義	臼杵陽	岩波書店
318.7	NAK	日本の都市問題を考える	中島克己他編著	ミネルヴァ書房
323.1	KOM	現行日本国憲法の包含する諸問題	小森義峯	國民曾館
329.9	HAG	外国人と法	萩野芳夫編著	明石書店
330	SAT	経済ってそういうことだったのか会議	佐藤雅彦他	日本経済新聞社
331.845	KAN	市場	金子勝	岩波書店
336	SIB	なぜ会社は変わらないのか	柴田昌治	日本経済新聞社
336	SIB	なんとか会社を変えてやろう	柴田昌治	日本経済新聞社
364	HUK	スウェーデンから何を学ぶのか	福祉文化学会編	ドメス出版
367.1	SAS	女性が変わる生活と法	佐々木静子編著	ミネルヴァ書房
369.27	ASA	生の技法	安積純子他	藤原書店
369	SEN	福祉の経済学	Sen, A.	岩波書店
377.13	BOY	大学教授職の使命	Boyer, E.L.	玉川大学出版部
377.15	KAG	新しい大学教育を創る	梶田叡一	有斐閣
377.15	KYO	開かれた大学授業をめざして	京都大学高等教育教授システム開発センター編	玉川大学出版部
377.12	NAK	大学倒産	中村忠一	東洋経済新報社
388.8	TAK	ことわざのレトリック	武田勝昭	海鳴社
393.21	SUG	ガイドライン関連法の成立と今後の課題	杉山蕃	國民曾館
(化学、医学、薬学など)				
404	CAR	失われた森	Carson, R.	集英社
404	TAT	脳を鍛える	立花隆	新潮社
407	SUZ	科学英語のセンスを磨く	鈴木英次	化学同人
410.4	ENZ	数の悪魔	Enzensberger, H.M.	晶文社
417	YAN	4Stepsエクセル統計	柳井久江	オーエムエス
430.7	YON	ノーベル賞の周辺	米澤貞次郎他	化学同人
433.45	NIP	高速液体クロマトグラフィーハンドブック	日本分析化学会関東支部編	丸善
433.9	HES	有機化学のためのスペクトル解析法	Hesse, M.他	化学同人
437	GRO	バイオサイエンス有機化学	Groundwater, P.W.他	化学同人
437.075	FIE	有機化学実験	Fieser, L.F.他	丸善
439	TAN	天然物化学	田中治他編著	南江堂
461	MUR	歴史としての生命	村瀬雅俊	京都大学学術出版会
467.25	OLD	遺伝子操作の原理	Old, R.W.	培風館
467.3	ISO	プロテオーム解析法	磯辺俊明他編	羊土社

467.3	TUZ	ポストゲノム時代の実験講座1	辻本豪三他編	羊土社
467.5	UTI	進化論と倫理	内井惣七	世界思想社
469	NIS	人間性はどこから来たか?	西田利貞	京都大学学術出版会
489.97	HUR	性の進化、ヒトの進化	古市剛史	朝日新聞社
490.1	SAT	医療神話の社会学	佐藤純一他	世界思想社
490.14	GLA	「死のアウェアネス理論」と看護	Barney, G.他	医学書院
490.14	HOR	患者と医者は本当にわかりあえるか	堀夏樹	晶文社
490.15	BEC	「死」が教えてくれること	Becker, C.B.他	角川書店
490.15	CAP	生命の尊厳とはなにか	Caplan, A.	青土社
490.15	MEN	医者が患者をだますとき	Mendelsohn, R.S.	草思社
490.15	OKA	定本ホスピスへの遠い道	岡村昭彦	春秋社
490.15	ROT	医療倫理の夜明け	Rothman, D.J.	晶文社
490.15	SIM	医療現場に臨む哲学	清水哲郎	勁草書房
490.3	HAS	教養と博識の医学ユーモア辞典	長谷川栄一	ミクス
491.3	TAM	「時間医学」がつくる自然治癒力	田村康二	泉書房
491.35	OKA	生殖細胞の発生と性分化	岡田益吉他編	共立出版
491.358	YOS	老化はなぜ起こるか	Austad, S.N.	草思社
491.376	ONO	脳とニオイ	小野田法彦	共立出版
491.4	TOM	NEW生化学	富田基郎他編	廣川書店
491.42	SIG	蛋白の糖化	繁田幸男	医学書院
491.457	OIS	絵ときホルモンの科学	大石正道	オーム社
491.5	KUB	薬理学テキスト	久保田和彦他	廣川書店
491.59	SAT	医薬品トキシコロジー	佐藤哲男他編	南江堂
491.6	OKA	疾病・病態マニュアル	岡野善郎他編	南山堂
491.65	ELI	ガン治療革命	Elias, T.D.	青木書店
491.65	OGA	「がん」を生きる人々	小笠原信之	時事通信社
491.69	CLA	遺伝子医療の時代	Clark, W.R.	共立出版
491.7	IRI	薬学領域の微生物学・免疫学	黒田久寅他編 金子太郎監修	廣川書店
491.7	KAT	薬科微生物学	加藤文男他	丸善
491.8	CAN	インターフェロン物語	Cantell, K.	ミネルヴァ書房
493.09	WEI	病いと人	Weizsacker, V. von.	新曜社
493.7	PIC	精神医学の二十世紀	Pichot, P.	新潮社
493.71	KEN	脳と人間	計見一雄	三五館
493.73	YAN	脳治療革命の軌(あした)	柳田邦男	文芸春秋
495.48	KIT	からだにやさしいピルの本	北村邦夫	講談社
498.021	MIZ	日本医療のゆくえ	水野肇	紀伊國屋書店
498.16	SAK	佐久病院史	「佐久病院史」作製委員会編	勁草書房
498.16	SIN	医療社会学を学ぶ人のために	進藤雄三他編	世界思想社
499	HOR	医療薬学	堀了平他編著	廣川書店
499.02	AMA	概説薬の歴史	天野宏	薬事日報社
499.035	IYA	医療品企業総覧1999年版		薬業時報社
499.091	KOS	薬事実務便覧1-4	薬事法規研究会監修	新日本法規出版
499.1	HAM	世界のエッセンシャルドラッグ	WHO expert committee.編	三省堂
499.1	ITA	医薬品情報学入門	板谷幸一編著	南山堂
499.1	TOD	間違いだらけの薬の選び方・使い方	戸田浄	講談社
499.1	TUZ	薬剤師のための常用医薬品情報集2000年版	河島進他編	廣川書店
499.1	YAK	最近の新薬2000年度版	薬事日報社編	薬事日報社
499.1	YAN	薬のリスク	八名見江子	ミオシン出版
499.14	MOR	新薬はこうして生まれる	森田桂	日本経済新聞社
499.2	SAW	医薬品適正使用のための臨床薬物動態	澤田康文企画・編	じほう
499.3	YAM	メディシナルケミストリー	山川浩司他	講談社
499.31	NIP	薬の顔	日本薬剤師会編	薬事日報社
499.33	SAK	薬学のための分析化学	桜井弘編著	化学同人
499.5	KOS	医薬品製造指針2000年版	薬事審査研究会監修	じほう
499.8	MAT	今日の医療用漢方製剤	松本克彦編著	メディカルユーコン
499.87	SIN	薬草歳時記	品川鈴子監修	おうふう

(工学など)

501.6	KOY	石油はいつなくなるのか	小山茂樹	時事通信社
501.6	MAS	完全図解日本のエネルギー危機	榭添要一	東洋経済新報社
504	YON	知政学のすすめ	米本昌平	中央公論社
509.8	MUR	安全学	村上陽一郎	青土社
518.52	SIL	人間とごみ	Silguy,C.de	新評論
519	TAD	環境文化を学ぶ人のために	多田道太郎編	世界思想社
519.8	KAW	緑のマンハッタン	川端裕人	文芸春秋
539.99	KOK	ドキュメント・東海村	國分郁男他編著	ミオシン出版
547.483	ASA	ネットワークセキュリティ	浅野正一郎他	丸善
597	YOS	理想のインテリアと雑貨	吉沢深雪	講談社

(産業)

616.2	SAT	森と田んぼの危機(クライシス)	佐藤洋一郎	朝日新聞社
-------	-----	-----------------	-------	-------

(芸術)

702.099	YAN	キリスト教美術図典	柳宗玄他	吉川弘文館
---------	-----	-----------	------	-------

(語学)

816	YAM	完本文語文	山本夏彦	文藝春秋
830.2	SAI	英語史研究の軌跡	斎藤俊雄	英宝社
833	CAM	Cambridge dictionary of American English	Sidney,I.L.	Cambridge Univ.Pr.
837	ASA	A world in common	浅川和也他編著	三修社
837	CUN	Snapshot USA	Cunningham,P.A.他	金星堂
837	HAS	Asian crossroads	長谷川潔他編著	成美堂

(文学)

902.05	HOS	アイデンティティ/他者性(思考のフロンティア)	細見和之	岩波書店
911.56	KIK	いつでも会える	菊田まりこ	学習研究社
914.6	ISI	ちょっとお節介ですが	石黒マリーローズ	時事通信社
914.6	ITU	人生の目的	五木寛之	幻冬舎
914.6	NAK	砂をつかんで立ち上がれ	中島らも	集英社
914.6	SON	「ほどほど」の効用	曾野綾子	祥伝社
940.2	TYU	ウィーンその知られざる諸相	中央大学人文科学研究所編	中央大学出版部

(小説)

S01	ZI	蒼穹の昴 上・下	浅田次郎	講談社
S45	RY	金融腐蝕列島	高杉良	角川書店
S45	RY	呪縛 上・中・下	高杉良	角川書店
S54	AR	永遠の仔 上・下	天童荒太	幻冬舎

【洋書】

分類番号	図書記号	書名	著者名	出版社
417	CHO	Encyclopedia of biopharmaceutical statistics	Shein-Chung Chow	Marcel Dekker
803.3	TRA	The dictionary of historical and comparative linguistics linguistics	R.L.Trask	
837	RIC	NEW person to person	Jack C.R.et al.	Oxford Univ. Pr.
837	RIC	NEW interchange	Richards,J.C.et al.	Cambridge Univ. Pr.

新図書館システムについて

2000年10月1日からの6ヶ月間の試験稼働を経て、2001年4月1日より新図書館システムの本稼働を開始しました。従来の図書館システムと最も大きく変わったところは、学内LANに接続された各研究室などのコンピュータから、本学図書館の所蔵検索ができるようになったことです。図書館ホームページの 図書館所蔵検索(OPAC)をクリックするとアクセスできます。現在は、学内のみの利用に限定されています。

本システムは現時点で完成したのではなく、これからも進化し続けます。より良く進化するには、皆様のご意見が重要な養分となります。色々なご意見をお待ちしています。

なお、新図書館システムの導入コンセプトなどについては「ききょう通信」121号をご参照ください。ここでは、実際の運用について説明します。

新入生の皆さんへ

1号館3階の東の端に図書館の出入り口があります。出入口に近づくと自動ドアが迎えてくれます。この自動ドアは少し変則的ですので、ぶつからないように注意してください(まだ、誰もぶつかってはいませんが)。自動ドアが開いて中に入るとロッカーがあります。館内に携帯品を持ちこむことはできますが、大きなものはロッカーに入れてくだ

さい。ただし、ロッカーの使用は当日限りです。貴重品は身につけておいてください。

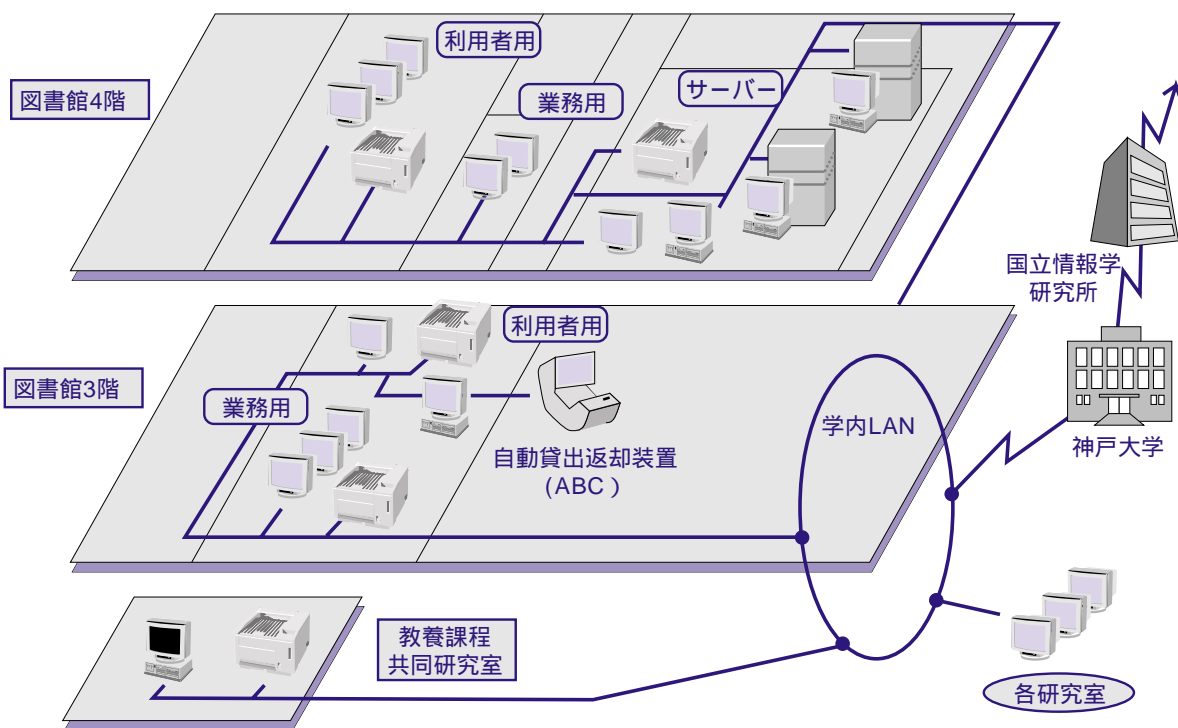
次のドアを通過して館内に入ると、左側に掲示板があります。ここには、新着図書のご案内、連絡事項を掲示しています。右側にはコンピュータとプリンターがあります。これらは情報の検索などを行うためのものです。次に目に飛びこんでくるのが、意味ありげなゲートですが、胸を張って通過してください。このゲートは図書館資料の不正持ち出しを防止するための装置(BDS)です。貸出手続きの済んでいない資料を持って、ゲートを通過すると光と音でアラームを発します。

図書館資料の配架場所・貸出冊数と期間などについては、「LIBRARY GUIDE」を参照してください。また“新入生のための図書館ツアー”を計画中です。

資料の貸出は自動貸出返却装置(ABC)で行うことができます。ただし、これを利用するために必要な「LIBRARY CARD」は5月に配布します。それまでは学生証をカウンターに示して貸出手続きを行ってください。また、図書館4階に情報検索コーナーがあります。図書館所蔵検索の他、インターネットを介した情報収集に自由に使用することができます。利用規則を守って使用してください。

わからないことがあれば、どんなことでも遠慮なく図書館員に尋ねてください。

図1 新図書館システムとネットワーク



在学生の皆さんへ

まだ「LIBRARY CARD」を交換していない方はカウンターに申し出てください。旧カードを紛失した方、貸出停止になっている方も新しいカードを受取りに来てください。

4階の情報検索コーナーにコンピュータ6台を設置しています。このうち2台は所蔵検索優先になっていますので、利用者が来られたときは譲ってください。また、コンピュータの設定を変えたり、使用できなくなしたりするなどの行為が目立ちます。利用規則を守り、使用中に問題が起きたときはすみやかに連絡してください。所蔵検索の方法、コンピュータの使用方法などわからないことがあれば、遠慮なく尋ねてください。また、1台に平凡社の世界大百科事典をインストールしました。活用されることを期待しています。

予約図書は従来通り、カウンターに申し出てください。予約図書が返却されたときは掲示でお知らせします。また、希望図書、利用者の声は4階カウンター前で受付けています。

さらに、1号館4階に学生自習室、が開設されました。飲食禁止など利用規則は図書館内と同じです。

教職員・大学院生・研究生・ポストドクターの皆さんへ

新図書館システムの提供する図書館所蔵検索(OPAC)と図書館ホームページを活用することにより、新着雑誌、新着図書の確認を各研究室などから行うことができます。図書館のサーバーは24時間稼働しています。閉館後も学内LANを介して所蔵検索ができます。

教職員・大学院生の方にはすでにOPAC上で使用するパスワードをお知らせしていますが、研究生・ポストドクターの方はカウンターで申し込んでください。パスワードを使って、貸出中の図書の予約、図書購入依頼、本人利用状況の確認を行うことができます。図書購入依頼はご希望に添えない場合もありますが、結果はメールでお知らせします。

また、最新のコンピュータを図書館内に設置しています。OPACでの検索の他、PDFファイルのダウンロード、プリントアウトなどに利用ください。

さらに、図書館ホームページから電子ジャーナルへのリンクを充実させました。図書館から冊子体で発行している雑誌カタログや、図書館ニュースをWeb上で見ることができます。外部データベース inside web も活用してください。

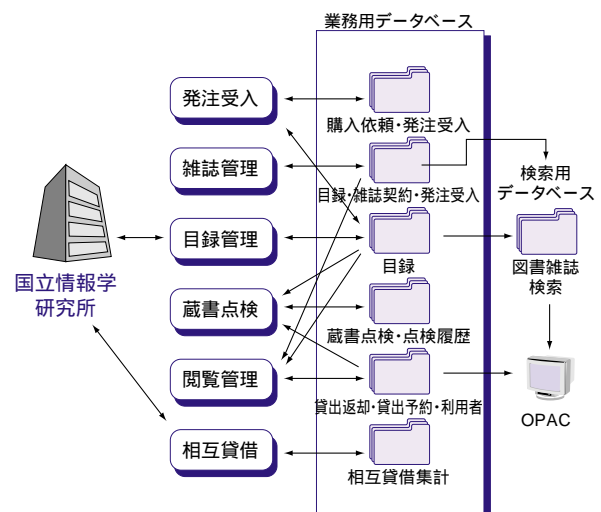
無人開館は教職員の希望者を対象に開始できるように準備をすすめています。もうしばらくお待ちください。

詳しく新図書館システムを知りたい方へ

新図書館システムの中で、情報がどのように管理されているかを図2に示しました。購入決定から閲覧可能になるまでの流れを図書を例にして説明します。

まず、購入決定した図書は、「発注受入サブシステム」を用いて発注データを作成し、業者に発注します。図書が納品されたら、それぞれの図書の価格などを入力する受入作業があります。その後、月ごとに支払処理をかけます。登録番号の付かない図書（主に文庫本など）を除いて、受入された図書はすべて登録番号を一括で付与します。そして「目録管理サブシステム」を用いて、国立情報学研究所・目録所在情報サービス(NACSIS-CAT)に接続して、目録を作成します。すでにNACSIS-CATに登録されている図書については、書誌情報（タイトル・著者およびヨミなど）を取り込むことができます。取り込みと同時に、本学がこの図書を所蔵しているという情報をNACSIS-CATに登録します。次に、図書を実際に見ながら日本十進分類法(NDC)に従って分類番号を付与し、配架場所を決定します。バーコード、3段ラベルの装備、不正持ち出し防止対策を行い、閲覧可能になります。購入希望者が登録されている場合は、この時点でメールあるいは掲示により、お知らせします。これらのデータは拡張リレーショナルデータベース(G-BASE)で管理されています。業務用端末から入力されたデータは業務DBサーバーに格納され、そのうち、OPACに反映させるデータは夜間処理により検索DBサーバーへ転送され、OPACでの検索が可能になります。また、登録番号の付かない図書（主に文庫本など）についてもOPACで検索できるように入力中です。

図2 新図書館システムによる情報管理



薬剤師のためのD I 資料(8)

『器官別にみた病態生理と治療薬』

橋本久邦 著
じほう、1999

本書は、医薬品の適正使用を進めるためには、病態と医薬品について出来るだけ理解しておくことが必要であるということと、主要な疾患の病態と病態に対する薬剤の作用などがわかりやすく解説されている。

総論では医薬品とは何かに始まって、体内動態、薬理作用、相互作用、開発、医薬品に関する法令や添付文書など、医薬品に関わる基本的な性質がわかりやすく解説されている。それに続いて各論では、主要な疾患と薬剤ということで、疾患の病態について解説があり、次にその疾患の治療薬が病態にどのように作用するのか等、出来るだけ図表など使ってわかりやすく説明されている。

医薬品は、薬剤学的、薬理学的性質、それが使用される病態などの情報が十分付加されてはじめて医薬品であり、このような情報をできるだけ多く把握することが医薬品の適正使用につながるという。医療現場の医療従事者だけでなく、医薬品の開発、流通に関与する人、医薬情報担当者等、薬剤の適正使用に関わる人の日常業務に役立つようになっている。

長嶺 幸子 記

2001年度購読中止学術雑誌

(外国誌)	誌名	(発行国)
	Acta Crystallographica. Sect B	(DK)
	Acta Crystallographica. Sect C	(DK)

お 願 い

入館の際は、携帯電話・ポケットベルの電源を切っていただきますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

- お知らせ
- 4月より新図書館システムが本格稼働いたしました。愛称の募集をしまして、多くの方に応募していただき、ありがとうございました。結果として継続審議となりましたが、2-E1の大西さんの「KAPLUS」が佳作として、決定いたしました。おめでとうございます。
 - 5月には新図書館システムのリーフレットをもとに、図書館ツアーの計画をしています。図書館をより有効に利用するきっかけとなればと思っています。ぜひご参加ください。
 - 1号館4階に学生自習室 ・ が開放されました。利用規則を遵守のうえ、ご活用ください。
 - 4階展示コーナーに「在宅医療」の展示をしています。
 - ホームページもリニューアルしました。電子ジャーナルリンク集で、学術雑誌の最新情報が確認できます。情報探索のツールとしてご利用ください。
 - 『実験化学講座』(丸善)、『世界大百科事典』(平凡社)などのCD-ROM資料を充実させました。4Fの情報検索コーナーでご利用ください。

- 編集後記 -

今号も多くの皆さまにご寄稿いただきまして、ありがとうございました。また、ブックガイドpart2 “在宅医療の本” は、実社会でご活躍中の本学卒業生七海陽子さんにご寄稿いただきました。

この4月より新図書館システムの本稼働を開始いたしました。業務の効率化、図書館サービスの向上に努めたいと思います。